

新規事業評価調書

事業名		主要地方道茨木摂津線（大岩工区）
所在地		茨木市大岩～茨木市千提寺
事業概要	目的	主要地方道茨木摂津線は、第二名神自動車道（仮称）茨木北 IC と主要地方道茨木亀岡線を結ぶことにより市街地へのアクセスを強化するとともに、国際文化公園都市（彩都）の骨格軸である（都）茨木箕面丘陵線と接続し、広域的なネットワークの形成に寄与する路線である。
	内容	延長 L = 1.9 km 幅員 W = 10.75 ~ 24.0m（道路規格 4種1級） 車線数 2車線 片側歩道
	事業費	全体事業費：約 75 億円（内訳） 用地費約 33 億円 工事費約 42 億円
	維持管理費	10.8 百万円/年（5.7 百万円/km・年）
	関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二名神自動車道（平成 30 年度供用予定） ・ 国際文化公園都市（彩都） ・ 主要地方道茨木亀岡線整備事業 ・ 大岩地区圃場整備事業
上位計画等の位置づけ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪府交通道路マスタープラン（平成 16 年 3 月策定） ・ 大阪府都市基盤整備中期計画（案）改定版（平成 17 年 3 月策定）
優先度		第二名神自動車道（仮称）茨木北 IC へのアクセス道路という機能上、第二名神自動車道の供用開始までに整備を完了させる必要がある。
事業の進捗予定	事業段階ごとの進捗予定と効果	平成 19 年度：測量・調査 平成 20～23 年度：用地買収 平成 24～30 年度：工事 平成 30 年度：工事・供用開始予定
	完成予定年	平成 30 年度

事業を巡る社会経済情勢	事業目的に関する諸状況	<p>第二名神自動車道（高槻市～箕面市）の状況</p> <p>平成 17 年 10 月の日本道路公団の民営化後、平成 18 年 2 月には国土開発幹線自動車道建設会議が開催され、施行命令済区間であった、第二名神自動車道（高槻市～箕面市）約 20 km 区間の建設に関する路線指定が行われたところ。</p> <p>平成 18 年 3 月に、国土交通大臣から西日本高速道路(株)に事業許可。</p> <p>施行主体：西日本高速道路株式会社 都市計画決定：平成 7 年 7 月 施行命令：平成 11 年 11 月 路線指定：平成 18 年 2 月 事業許可：平成 18 年 3 月</p> <p>当該地域周辺の道路状況</p> <p>第二名神自動車道の（仮称）茨木北 IC に近接する現道の主要地方道茨木摂津線及び一般府道忍頂寺福井線は、大岩、福井などの集落を連絡し、国道 171 号へ至る茨木市の山間部における補助幹線道路であるが、急カーブが連続する上、幅員も狭小であることから、IC の流出入交通の処理は困難な状況である。</p> <p>一方、当該地域から東へ約 1 km に位置する主要地方道茨木亀岡線は、京都府亀岡市と大阪府茨木市を結ぶ主要な幹線道路であり、現在、安威川ダム関連事業として付け替え整備中であり、国道 171 号から約 6 km については、平成 20 年度完成予定である。</p> <p>また、本路線は、第二名神自動車道（仮称）茨木北 IC（流出入交通 約 7,000 台/日）へのアクセス道路として都市計画決定されており、主要地方道茨木亀岡線と直結し国道 171 号と接続する。</p>
	地元等の協力体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西日本高速道路株式会社及び関連市等からも早期整備要望が出されている。 ・ 事業実施に伴う残土（約 50 万 m³）を隣接する大岩地区圃場整備事業にて受け入れるべく、地元と協議・調整を進めている。

事業効果の定量的分析	費用便益分析	具体的な便益内容	受益者	費用便益比	備考
		走行時間短縮便益 走行費用減少便益 交通事故減少便益	地域住民 道路利用者	$B / C = 10.18$ 便益総額 $B = 594.68$ 億円 総費用 $C = 58.43$ 億円 費用便益分析マニュアル（平成15年8月：国土交通省道路局、都市・地域整備局）により算出	
その他の指標 (代替指標)					
事業効果の定性的分析	安全・安心	<p>○歩車分離による交通安全機能の向上 車道と歩道を分離することにより、歩車が混在することがなくスムーズに交通処理が行われ、交通安全機能が向上する。</p> <p>○現道への通過交通排除による安心安全性の向上 本路線の整備により（仮称）茨木北 IC を利用する交通が円滑に処理され、また、これまで主要地方道茨木摂津線及び一般府道忍頂寺福井線を利用していた通過交通が本路線を利用することにより、既存集落内の交通量が減少し安全性が確保できる。</p>			
	活力	<p>○地域間交通連携の強化及び物流効率化の支援 茨木市南部に位置する名神高速道路茨木 IC は、中心市街地に近く周辺道路は慢性的な交通渋滞を引き起こしており、このため、茨木市北部に位置する第二名神自動車道（仮称）茨木北 IC へのアクセス機能を向上することにより、周辺道路の交通渋滞の緩和を図り、物流の効率化を支援する。</p> <p>国際文化公園都市（彩都）の開発支援 国際文化公園都市（彩都）と（仮称）茨木北 IC とのアクセス機能が向上することにより、開発を支援し都市機能が向上する。</p>			
	快適性	車両等の走行性の向上による快適性の向上			
	その他				

自然環境等への影響と対策	<p>○以下の点に留意して事業を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本路線と隣接している大岩地区圃場整備事業と調整を行い、圃場整備事業と道路との高低差を少なくし、コンクリート構造物の設置を極力抑える。 ・切土法面が発生する箇所については、既存の植生種を利用するなど当該道路周辺の生態系を乱さないよう緑化対策について検討を行い、植生の回復に努める。
	<p>本路線は、第二名神自動車道のアクセス道路として第二名神自動車道と同時に平成7年7月に現況地形や経済性を考慮した上で、都市計画決定されている。</p>
代替案との比較検討	
その他特記すべき事項	